

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 芦屋健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>「食育推進計画（第4次）」を進めるために、まずは地域の食育推進の中心となる栄養関係機関・団体の共通理解と連携が重要である。</p> <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none">・芦屋市食育推進計画の改定作業が進む中、芦屋市の食育推進の方向性をふまえて、地域の取り組みを検討する必要がある。・芦屋市には、芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の二つの栄養士会が組織化され、地域の食育推進のために両会の連携が大切である。・Smileはんしん栄養ケアステーション（令和2年度開設）では、地域に根ざした活動を模索されている。
今年度の推進方策	<p>栄養関係機関・団体により、地域課題の共有や取組の情報交換を行うとともに、協働した取り組みを展開する。</p> <p>(令和4年度健やか食育推進会議で明らかとなった課題である高齢者へのフレイル予防に向けた食育実践活動を行う)</p>
成果	<p>栄養関係機関・団体が協働で食育実践活動の企画～評価を行うことにより、相互理解の機会となった。</p> <p>また、阪神圏域の健康課題と食生活の状況を栄養関係機関・団体で共有し、優先して取り組む課題を検討した。</p>
今後の方向性	<p>地域の食育推進に向けて、引き続き、栄養関係機関・団体の共通理解と連携を深めつつ、各機関の事業展開につなげていく。</p>

2 会議の開催状況

実施日時	令和6年2月28日（水）14:00～16:10
参集者 (団体数 及び人数)	芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 芦屋市こども家庭・保健センター 芦屋市精道高齢者生活支援センター (5機関・団体 7人)
協議内容	1 開会 2 意見交換「フレイル予防講座の振り返り」 3 情報交換「食育の取り組みと方向性」
今後の方策	<p>阪神地域の健康課題と食生活の現状をふまえ、共通の取り組みテーマを間食とし、各機関・団体で情報発信に取り組み、本会議にて共有する。</p> <p>今後も、栄養関係機関・団体の情報共有（活動状況、栄養・食生活のデータ等）を行うとともに、地域課題をそれぞれの機関・団体の活動につなげ、共有・評価する場として、本会議を継続する。</p>

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	フレイル予防講座の企画～実践		
対象及び参加者数	① 芦屋栄養士会、芦屋在宅栄養士会、Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 6人 ② 芦屋栄養士会、芦屋在宅栄養士会、Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 6人 ③ 芦屋在宅栄養士会、兵庫県歯科衛生士会 6人 ④ つどいの場の参加者及び支援者（民生委員、福祉推進委員） 21人		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和5年7月31日 17:00～19:10 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション	フレイル予防講座プログラムの検討	芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 芦屋健康福祉事務所
	令和5年9月4日 17:00～18:50 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション		芦屋栄養士会 芦屋在宅栄養士会 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 芦屋健康福祉事務所
	令和5年10月6日 10:30～12:45 宮塚住宅集会所	フレイル予防モデル講座実施をふまえた検証（芦屋栄養士会事業の見学、講座内容の検証）	芦屋在宅栄養士会 兵庫県歯科衛生士会 芦屋健康福祉事務所
	令和6年2月6日 11:30～13:30 西蔵集会所	フレイル予防講座 ・食事の話 ・GENKI弁当の話・会食 ・口腔ケアの話	芦屋在宅栄養士会 Smileはんしん認定栄養ケア・ステーション 兵庫県歯科衛生士会 芦屋健康福祉事務所
成 果	<p>【成果】 フレイル予防講座（2会場：芦屋栄養士会主催、芦屋健康福祉事務所主催）について、関係団体協働により、各立場の視点を生かした講座となった。講座では、専門職の講話や会食が好評であり、お弁当の提供を通じて食事バランスや噛み応え等フレイル予防のポイントを伝えることができた。</p> <p>【評価指標と目標値及び達成状況】 （フレイル予防講座 参加者アンケートより（20名回答））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルの意味 よく分かった＋だいたい分かった（20名 全員） ・フレイル予防の食事のポイント よく分かった＋だいたい分かった（20名 全員） ・オーラルフレイル予防のために取り組んでいること、取り組みたいこと お口の体操（14名） 歯科定期健診（14名） 唾液腺マッサージ（10名） 		
今後の課題	フレイル予防活動の継続に向けて、高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）よりつどいの場や関係機関へ、フレイル予防の啓発やこの度の講座内容の発信を依頼。講座の予算確保が難しい地域もあるため、状況を把握する社会福祉協議会との連携を今後も継続する。		

※プログラムや内容が分かる資料を抜粋し添付すること。

令和5年度 健やか食育プロジェクト事業

～栄養のネットワークで地域の食育推進～

背景

- 令和4年度より芦屋市食育推進計画の改定作業が進む中、芦屋市の食育推進の方向性をふまえ、地域の取り組みを考える必要がある。
- 芦屋市には、芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の二つの栄養士会が組織化され、地域の食育推進のために、両会の連携が大切である。
- Smileはんしん栄養ケアステーション（令和2年度開設）では、地域に根ざした活動を模索されている。

地域の食育を進めるために、まずは食育推進の中心となる栄養のネットワークと共通理解と深める。

【令和4年度】地域の食の課題抽出

【重点課題】

- インターネット等情報氾濫による誤った知識の実践
- ライフスタイルに伴う食生活の変化
- **社会的弱者(高齢者等)への配慮**

【令和5年度】課題をふまえた取り組み(各団体)の情報交換

協働した取り組みの振り返り
(高齢者のつどいの場における『フレイル予防講座』)

阪神圏域の健康課題と食生活の現状を共有
(急性心筋梗塞標準化死亡比の高値、LDL-コレステロールの高値、魚・野菜の摂取不足、洋菓子の習慣的摂取)
⇒まずは『間食』について地域への情報発信を進める

健やか食育推進会議

芦屋在宅
栄養士会

芦屋
栄養士会

Smileはんしん
認定栄養ケアステーション

芦屋市精道高齢者生活支援センター
(つどいの場のサポート役)

芦屋市
こども家庭・保健センター



高齢者のつどいの場における『フレイル予防講座』



1. 食事の話

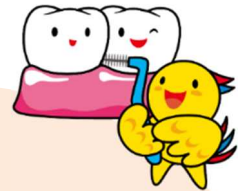
- フレイルの意味
- フレイル予防の食事、たんぱく質アップの調理法



フレイルの意味、食事のポイントは、よく分かった、だいたい分かった(全員)

2. GENKI 弁当の話・会食

- お弁当の説明（フレイル予防のポイント確認）



3. 口腔ケアの話

- オーラルフレイル予防
- お口の体操、早口ことば（演習）

オーラルフレイル予防のために取り組んでいること、取り組みたいこと ※複数回答(回答者 20名)
お口の体操(14名), 歯科健診(14名)
おしゃべり(11名), 歌(11名)
唾液腺マッサージ(10名), 音読(2名), その他(1名)



【スタッフの振り返り】

- ・食事の話だけではなく、お弁当の実食、口腔の話が加わり、内容が深まった。
- ・フレイル予防には運動も必要。リハ職の協力も得られれば更に充実するのでは。
- ・もともと意識の高いグループであるが、より熱心に受講されていた。
- ・専門職（栄養士、歯科衛生士）の講話は、今後の活動の参考となった。

引き続き、栄養関係機関・団体の情報共有（活動状況、栄養・食生活のデータ等）を行うとともに、地域課題をそれぞれの機関・団体の活動につなげていく。